

臥床患者の寝衣交換の手順(和式寝衣の交換)

演習 練習

使用物品			
寝衣, 下着, タオルケット, クリーナー(必要時), ランドリーバッグ(必要時)			
準備	対象のアセスメント		
	・状態の把握: 一般状態, 安静度, 関節可動域の障害, ライン類, 苦痛症状の有無		
	・寝衣交換の方法: 手順, 対象に合わせた工夫		
	使用物品を揃える		
	説明し、了解を得る		
	環境を整える		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーの保護</li> <li>・室温の確認・調整</li> <li>・作業環境の整備</li> </ul>		
実施	掛け物をタオルケットに掛け代える	不必要な露出を避ける	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タオルケットを掛ける</li> <li>・掛け物はずし、足元に折りたたむ</li> </ul>		
	寝衣の紐を解く		
	右側臥位にする		
	左側の寝衣を交換する	肘から先を抜く時は、肘関節を前面から支える 前腕を回内し、肩関節を内旋して腕を抜く	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衿元をゆるめて、肩、肘、腕の順に袖から抜く</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱いだ寝衣の裏側を内側に巻き込む</li> </ul>	迎えた手で患者の手関節を支える	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な寝衣の袖を手繰り、迎え手をして腕を通す</li> </ul>	迎え手・送り手	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎えた手で患者の手関節を支えながら、反対の手で寝衣を肩まで伸ばす</li> </ul>	ねじれやたるみ、ゆがみを防ぎ、着衣後の動作を安楽にする	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な寝衣の後ろ身ごろをしわがないように広げ、背縫い、肩、左脇縫いの位置をあわせる</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な寝衣の左前身ごろを整える</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な寝衣の右身ごろを扇子折にして、できるだけ患者の体の下に入れ込む</li> </ul>	タオルケットを身体の下に巻き込まない	
	腰紐を腰部に合わせて置く		
	仰臥位にする		
右側の寝衣を交換する			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れた寝衣を肩から順に抜く</li> <li>寝衣の汚染した面を内側に巻き込みながら脱がせる</li> <li>・清潔な寝衣を身体の下から引き出し、袖を通す</li> <li>・紐を引き出す</li> </ul>			
前身ごろを整える	前身ごろの合わせに注意(左身ごろが前)		
衿元を整える			
しわを伸ばして寝衣を整える	しわの後発部位: 背中、腰部、袖		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹近くを引っ張り、後ろ身ごろのしわをのばす</li> <li>・上半身は横に、下半身は斜め下方向に引く</li> </ul>	左手で体を下から支えることで摩擦を減ら肢、寝衣を引きやすくする		
	肩や上腕の動きを妨げない		

実施	紐を縛る	縦結びにしない		
	掛け物を戻す			

片付け	汚染した衣類は、所定の位置へ			
	作業のために変更・移動した状態を戻す			
	実施後のアセスメント			
	・ 状態の変化 ・ ケア方法の妥当性			

臥床患者の寝衣交換の手順(パジャマの交換)

上着の着脱は和式寝衣に順ずる	袖の内径が小さいため、着脱側の見ごろを十分ゆるめて腕の着脱を行う			
ズボンの着脱	腰を上げてもらい、腰部分を脱がせる	協力が得られるように十分説明する		
ズボンを手繰り、迎え手・送り手の要領で下肢を順にはく	下着も同時の場合は、ズボンと同じ動作で行う	不十分だと腰まで十分に上がらない		
膝あたりまで十分にズボンを上げる	腰を上げてもらい腰部をはく			
しわなく整える				

確認者サイン